

FOMCを受けての日米株式・リート市場

米国市場は政策金利見通しの上振れに警戒感

2023年9月21日

政策金利の上振れや据え置き長期化の可能性を見極める展開が続こう

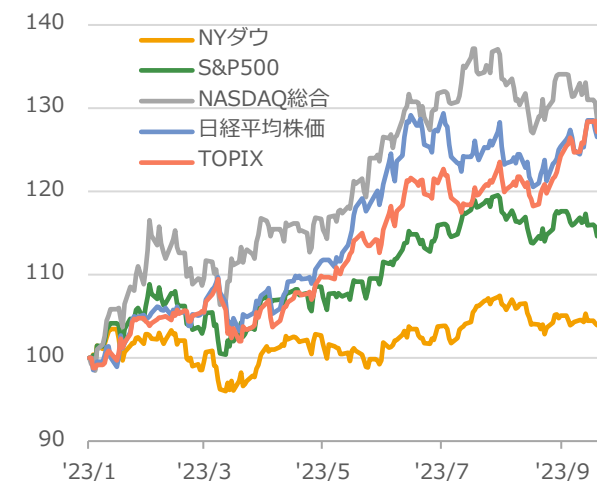
FRB（米国連邦準備制度理事会）は9月19-20日（現地）に開催したFOMC（米国連邦公開市場委員会）で、政策金利であるFF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標レンジの据え置きを決定しました。なお、3月、6月、9月、12月のFOMCでは今後の経済や政策金利の予想数値が公表されますが、全体的には経済・政策金利とも6月時点の見通しに比べ、強めや上振れ気味でした。

20日の米国株式市場は、FOMCの結果発表以降、下落しました。経済や政策金利見通しの上振れを受けて金利が上昇したことがマイナスに影響したとみられます。政策金利が高水準で長期にわたり据え置かれる可能性に対する警戒感が、今後しばらくは米国株式市場の上値抑制要因となりそうです。一方、日本の株式市場は足元も比較的堅調です。米国の金利が上昇すると日本の金利にも上昇圧力がかかりやすくなる点には注意が必要ですが、割安株見直しの動きなどは今後も継続する可能性が高いと考えられます。

20日の米国リート市場は、FOMCの結果発表後に売られましたが、前日比では若干のプラスでした。米国株に比べると年初から金利上昇への警戒感が強く、今回のFOMCについても織り込み済みの面があったのではないかと考えられます。そのため更に大幅に金利が上昇しない限り、今後も指数は底堅く推移すると予想されます。日本のリートについては、仮に日本の金利が多少上昇したとしても、リーートの配当利回りが金利を大きく上回る点は変わらないため、相対的に投資対象になりやすい状況が続くと考えられます。

日米主要株価指数

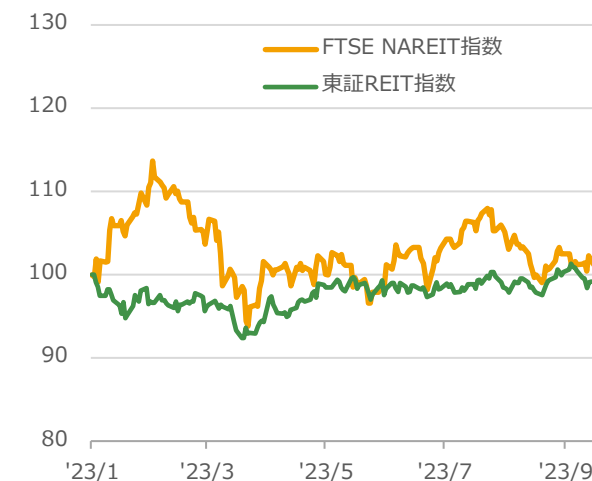
(2023年1月初～2023年9月20日)



(出所) ブルームバーグ

日米リート指数

(2023年1月初～2023年9月20日)



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management